



令和3年12月号

伊勢市青少年相談センターだより

伊勢市青少年相談センター 伊勢市小俣町元町540 小俣総合支所2階 社会教育課

TEL 0596-22-7894 FAX 0596-23-8641 s-soudan@city.ise.mie.jp

## 安全で楽しい冬休みについて

学校は、まもなく冬休みを迎えます。子ども達にとっては、「冬休み」と聞いただけで楽しみや期待感で胸躍る気分になるのではと思います。気のゆるみからゲームの誘惑に負けたり、深夜徘徊、万引や喫煙、飲酒などの非行に走ってしまったりする可能性が有ります。子ども達が、非行への誘惑や不審者などの誘いに負けない強い気持ちで休みを送れるよう、また、健康的で規則正しい生活を送れるように学校・家庭・地域社会が温かく見守り、アドバイスをしていきましょう。そして、新型コロナウイルスの感染防止のため、三密（密集、密接、密閉）を避け、マスク着用、うがい、手洗いの励行等「新しい生活様式」を守ることを忘れないでください。

### ○ 規則正しい生活を送らせましょう！

クリスマス、正月のクラス会などで、保護者の付き添い無しで小中学生だけでカラオケ店へ行ったり、午後10時を過ぎての深夜徘徊、友人宅への無断外泊、飲酒、喫煙等を絶対にさせないようにしましょう。

また、オンラインゲームやスマホの利用について、保護者の方は子ども達とよく話し合って、制限時間、使用時間帯やゲームの課金等のお金に関する事などを決めてルールを守らせましょう。

### ○ 安全に気をつけた生活を送らせましょう！

道路では遊ばせない。正しい自転車の乗り方をするなどの交通ルールを守らせることや、買い物などの用事は日が暮れる前にすませ、早めに帰宅させましょう。外出時は、行き先や帰宅時間、同伴者を保護者に伝えさせましょう。

### ○ 出合いやふれあいをより広げさせましょう！

新型コロナウイルスの感染防止に注意したうえで、初詣や地域の行事などに参加させて体験的な学習をさせましょう。



## 児童生徒の不登校・自殺が過去最多

○ 文部科学省は、令和3年10月13日、令和2年度に全国の小中学校で不登校（年間30日以上欠席）だった児童生徒は、調査の結果、過去最多の19万6,127人（前年度18万1,272人）で、前年度から1万4,855人（8.2%）の増加となり、在校児童生徒に占める不登校児童生徒の割合は2.0%となったと発表しました。高等学校は減少しましたが、小中学校の不登校については、8年連続で増加したとしています。また、新型コロナウイルスの感染回避による欠席についても調査しており、小学校1万4,238人、中学校6,667人、高等学校9,382人が、感染回避で30日以上欠席したとしています。

○ 自殺については、小中高등학교から報告があった児童生徒の人数は415人（前年度317人）で大幅に増加して、調査開始以来最多だったとしています。

このほか、いじめや暴力行為は減少したとしています。

○ 文部科学省は、調査結果からは、新型コロナウイルス感染症によって学校や家庭における生活や環境が大きく変化し、子どもたちの行動等にも大きな影響を与えたと分析しています。対策としては個々の児童生徒の状況に応じた必要な支援や、関係機関の連携による教育相談の充実と未然防止、早期発見・早期対応の取り組みや家庭・地域社会等の理解を得て地域ぐるみでの取り組みを推進していくとしています。

## 令和3年JAF横断歩行全国調査 三重県は？

JAFによる信号機のない横断歩道における車の一時停止率の全国調査結果が10月に発表されました。三重県は、令和2年は前年の最下位47位から一気に14位まで上昇しましたが、令和3年は、さらに上昇して7位（47.0%）になりました。

調査は毎年8月に各都道府県で非公表の2か所で実施され、10月に結果が発表されます。令和3年の停止率の全国平均は30.6%で、6年連続1位の長野県は、85.2%でした。

三重県警察では、横断時に歩行者が少し手を上げる「横断歩道“ハンドサイン”キャンペーン」を実施中です。歩行者に優しい運転がもっと広がることを期待したいものです。

12月5日 青少年の日 家庭の日